

令和8年度 第1回 水窪小・中学校運営合同協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月14日（木）14時00分から15時40分まで
ただし、14時20分までは授業参観
- 2 開催場所 水窪中学校 ランチルーム
- 3 出席委員 柳田 温、高木 罔乃、西岡 小百合、石本 駿輔、高木 幸代、平澤 文江
鈴木 清孝、梅澤 美百合、山内 啓一、三石 卓
- 4 欠席委員 守屋 貞慶、片倉 なつみ、片桐 正臣
- 5 学 校 鈴木 滋雄（水窪小学校長）、米山 哲哉（水窪中学校長）、鈴木 成幸（水窪小教頭）
宮下 友樹（水窪中教頭）
内山 由紀（CS ディレクター）

6 傍聴者 なし

7 会議録作成者 CSディレクター 内山 由紀

8 会長の選出及び副会長の指名

司会から、柳田委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長から、鈴木委員を副会長に指名する旨の報告があり、全員異議なくこれを承認した。

9 議長の選出

司会から、柳田会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

（1）水窪小学校・水窪中学校の学校経営方針について

（2）夢育やらまいか事業に対する意見書について

11 会議記録

司会の平澤委員から、委員総数13人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前回会議録の確認について

水窪小教頭より、別紙資料の前回会議録の内容について説明があり、確認した。

＜授業参観の感想＞

・1・2年生の授業を見たが、1年の成長がこれだけ違うんだなと思った。小学校を卒業してすぐの時期から1年たったら、これだけ大きくなって、大人に近づいていると感じた。（山内委員）

・パソコンを使ったりモニターを使ったり、進んでいるなと思った。どの生徒も先生の言葉や内容に対して集中して受けていると感じた。少人数だから、先生方も目が届きやすいし、生徒も気を抜いても目立つ。少人数だと事細かに把握され、集中度が違うなと印象に残った。（鈴木委員）

（2）水窪小学校・水窪中学校の学校経営方針について

議長の指示により、水窪小学校長・水窪中学校長から、別紙資料のグランドデザインを基に、学校経営方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

・部活動について、子供たちは週末の部活動自体にどういう考えをもっているか。それにより、受ける側の人たちの方向性も変わってくる。どういう感じなのか。（山内委員）

→人によって答え方も変わってくるので、アンケートを取ろうと考えている。（水中校長）

→アンケートを受けて、皆さんと相談していくのも一つかなと思う。(山内委員)

→早めにアンケートを取る。(水中校長)

・子供の気持ちも大事だが、育ち盛りの年代の子が、スポーツをやることの教育的な意味があるのかないのか。本当ならやったほうがいいのか、子供の好きにさせればいいのか、この辺りを私たちはわかっていないので、先生たちの知見があれば次の時に教えていただけるとありがたい。(平澤委員)

・第三者的に言うと、部活をやっているほうが、授業と違うお互いの絆ができていいのではないか。以前はみんな入っていたが、今の中学生は、やってもやらなくてもいいになっている。私としては、やってくれるといいかなと思う。(園乃委員)

・中学で芽が出て、高校・大学と先につながる部分がある。子供はすごくやりたがっていて、将来野球選手になりたいと夢をもっても、地域の協力者がでてこないとできない。山内委員が言ったように環境づくりについて8月まで時間があまりないが、どういう受け方をすればよいか。(柳田委員)

・次回の7月の協議会で部活動にふれる時間を取り、熟議してからでは遅いか。(平澤委員)

→今すぐやるわけではない。9月になったら始めなければならないが、先が長くなりそうである。野球をやりたい子がいる場合、水窪で何人集まるか、子供が何人いるかというところから考えていかなければいけない。水窪でやる必要、水窪でやることによって弊害になることもある。外に行ったほうがいいのかという声もある。現状でいうと、夏以降、野球が4人、ソフトテニス4人、吹奏楽が3人、ものづくりが2人である。部として成り立つか、中学生だけでやるべきか等皆さんにお聞きしながらやっていきたい。(水中校長)

・先ほど中学校の校長先生から話があった地域の行事へボランティア等で参加していくことについて、峠の綱引きの全校参加は可能か。綱引きの中で子供が引くセクションがあり、会場に来た長野県側と静岡県側の子たちが引き合う。例えばだが、ある程度話ができれば、全校参加で行くと向こう側に話をする。(鈴木委員)

→相談させてもらう。(水中校長)

・小中で可能かどうかというところか。(鈴木委員)

→全員になると、学校としての活動になるので授業の日を変えることになる。ボランティアだと自由参加で必ず全員出るというわけではない。今のところなんとも言えない。(水中教頭)

・確約ではなく話し合っていて、参加等具体的に長野県側に話ができればそのように進めていく。主体的な話で、本人たちにその気があるのかというところが一番大事。行ってみたい、やりたいという意思があるのかどうか。(鈴木委員)

→もっていき方だと思う。(水中校長)

・実際にやればいい思い出になる。ほぼ40年やっている歴史がある。参加したら後々意味も出てくると思う。(鈴木委員)

協議の結果、全員異議なく令和8年度学校経営方針を承認した。

(3) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

夢育やらまいか事業に対する意見書について、別紙資料に基づき水窪小教頭より説明があった。

- ・協議会の名前が小学校だけになっているがよいか。小学校名で出すのであれば、高根タイムのことが入っているが大丈夫か。(平澤委員)

→小中学校と訂正する。(水小教頭)

報告・連絡事項

- ・水窪小教頭、水窪中教頭より、別紙資料に基づき、学校運営合同協議会事業計画について説明があった。その後、水窪小校長より、いじめ基本方針については次回協議会で時間をいただいて説明するという話があった。
- ・水窪小教頭より、さくら連絡網について説明があった。
- ・平澤委員より、今回は、7月27日(月)午後1時30分から3時まで水窪中学校ランチルームで開催される旨の報告があった。その後、水窪小教頭より、第2回協議会は夏休みに入るため、小中学校の職員の参加を考えているという話があった。